**学校におけるいじめの防止等に係る取組のチェックリスト（教職員用）**　（例）

**学校におけるいじめの防止等の取組に関して、全教職員で共通理解し、組織的に実行できているかをふり返り、当てはまる数字に○をしてください。**

４…よくできている、３…おおむねできている、２…あまりできていない、１…できていない

**１　いじめの防止のための取組**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | チェック |
| 学校づくり・授業づくり | 生徒が規律正しい態度で主体的に授業や行事に取り組めるよう指導・支援を行っている | ４ | ３ | ２ | １ |
| 全ての生徒が参加できる授業づくりに努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
| 集団づくり・生徒理解 | 互いのよさや違いを認め合う集団づくりに努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
| 生徒理解や人間関係の把握に努めるとともに、生徒一人一人と会話するよう心がけている | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
| 生徒指導 | 生徒指導の視点を大切にした授業づくりについて、全教職員が共通して取り組むよう努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
| 生徒が「死ね」「うざい」等、人を傷つける言葉を発した時には、その場で注意・指導するよう努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
| 教職員の資質能力向上 | 教師の不適切な認識や言動が、生徒を傷つけたりいじめを助長したりすることの無いよう、細心の注意を払っている | ４ | ３ | ２ | １ |
| いじめ認知の視点について、教職員間で定期的に確認している | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |

**２　いじめの早期発見、早期対応等**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | チェック |
| いじめの発見 | 日常の観察に加え、アンケートや面談、個人ノートなどを活用し、生徒の実態把握に努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
| いじめの疑いや気になる兆候が見られる場合には、校内の「いじめの防止等の対策のための組織」に報告し、複数の教職員で情報を共有したうえで見守るようにしている | ４ | ３ | ２ | １ |
| 生徒の人間関係等を観察しながら、「もしかして、いじめではないか」という視点を常に意識している | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
| いじめの対応等 | 被害生徒や情報を提供してくれた生徒を守り通すことを前提に、組織で迅速に対応することに努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
| 加害生徒への指導について、その行為に対しては毅然とした態度で指導をしたうえで、行為の背景などに寄り添い、根本からの改善に努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |
|  |  |  |  |  |

**３　家庭や地域の関係団体等との連携促進**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | チェック |
| 学校行事や学級での出来事などについて、学級通信等で情報発信するよう努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
| 生徒の様子で気になることがあれば、大小にかかわらず家庭へ連絡したり、保護者から聞き取ったりするよう努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
| ＰＴＡ活動や地域の行事などに進んで参加するよう努めている | ４ | ３ | ２ | １ |
|  | ４ | ３ | ２ | １ |

**４　取組全体を通しての成果や課題、改善点などについてお書きください。**

|  |
| --- |
|  |

チェックリストの作成・活用に当たっての留意点

　このチェックリストは、県立学校版「学校いじめ防止基本方針（記載例）」をもとに、その中の取組からいくつか選んで項目立てをしたものです。各学校で作成・活用するチェックリストの参考にしてください。

　なお、チェックリストの作成・活用にあたっては、以下のことにご留意ください。

○　チェックリストは、学校基本方針に盛り込まれているいじめの防止等のための取組の検証・改善を図ることを目的としています。そのことを踏まえ、学校の実態及び学校基本方針の内容に沿って、学校が主体的にチェック項目を設定してください。

○　このチェックリストは教職員用であり、学校の取組の自己評価の意味合いが強くなります。より客観性を高めるためには、児童生徒用、保護者用等のチェックリストを作成し、活用する必要があると考えられます。

その場合、児童生徒用については、従来行っている「いじめアンケート」にチェック項目を追加したり、保護者用については、学校評価アンケートにチェック項目を組み込んだりするなど、さまざまなアンケートが学校で実施されている状況を踏まえ、各学校においてより効率的で効果的な方法を検討したうえで実施してください。